科目名	現代の国語	学年	普通科		必/選	単位数	
		1年	国文	普通	必修	2	
			○	○			
学習の目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>						
使用教材	<p>教科書：「新編現代の国語」（東京書籍）</p> <p>副教材：「書いて覚える漢字練習ノート」（啓隆社）</p>						
評価	評価法	定期考査、小テスト（定期）、パフォーマンス課題（発表、レポート、作文）、ノート、ふり返しシートで評価する。					
	評価観点の趣旨	a	知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。			
		b	思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。			
		c	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養成している。			
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。							
期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1学期	4	5	・今好きなものを伝えよう【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> 筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。（こそそめスープ） 筆者の少年時代の体験について書かれた文章を読み、自分に当てはめて考える。（ルリボシカミキリの青） 要旨をまとめ、自身の思いを作文する。 根拠を明確にして意見をまとめる。 	中間考査	中間考査	発表 作文 ノート
	5	6			発表 作文 ふり返しシート		
1学期	6	5	<ul style="list-style-type: none"> 対比を用いた論理展開を読み取る【読むこと】 日本と西洋の違いを説明しよ 	<ul style="list-style-type: none"> 情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかむ。 さまざまなメディアの特長を知り、受信者としても送信者としても適切な判断のもと、使い分ける。 「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本 	期末考査	期末考査	発表 意見文 ノート
	7	8			発表 作文 ふり返しシート		

			う【書くこと】	文化の特質について理解を深める。(水の東西) ・情報を集めて検討し、構成を工夫して意見文を書く。	スト	意見 文	シート
2 学 期	9 10 月	10 3 3	・分かりやすい説明をしよう【話すこと・聞くこと】 ・具体と主張を区別する【読むこと】 具体例を出してレポートしよう【書くこと】	・自分が伝えたいことをわかりやすく伝えるために必要なことを学び、それを活用して道案内をする。 ・ロールプレーを通して、気づいたことや改善点を話し合う。 ・色について論じた文章を、具体例の役割を押さえながら読み、筆者の価値観と主張をつかむ。(無彩の色) ・色について調査し、レポートにまとめる。	中間 考査 小テ スト	中間 考査 発表 レポ ート	発表 レポート ノート ふり返り シート
2 学 期	11 12 月	4 4 3	・正しい文章の書き方を知る【書くこと】 ・筆者の考え方を解釈する【読むこと】 ・「職業の選び方」を紹介しよう【書くこと】	・お題にあった文章の書き方を学び、書いたものを推敲する力を身に着ける。 ・自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。(森で染める人) ・自然や社会の中で生きる意味を考えながら働く筆者の思いに触れ、働くということについて考える。 ・職業や働き方について調べたことを整理して、考えたことを分かりやすくまとめる。	期末 考査 小テ スト	期末 考査 発表 作文	発表 作文 ノート ふり返り シート
3 学 期	1 2 3 月	10 5 6	・気になるニュースを紹介しよう【話すこと・聞くこと】 ・筆者の伝えたいことを要約しよう【読むこと】 ・「自立」について意見文を書こう【書くこと】	・プレゼンに必要な情報を話し合う。 ・聞き手に伝わりやすい話し方、話し手が話しやすい聞き方を学び、実践する。 ・「自立」の在り方について考察する文章を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。(真の自立とは) ・推論の仕方を理解し、日常で使えるようになる。 ・根拠を明確にして意見をまとめる。	学年 末考 査 小テ スト	学年 末考 査 発表 意見 文	発表 意見文 ノート ふり返り シート

担当者からのメッセージ (学習方法など)

授業は、教科書を中心に進め、様々な学習活動を通じて、理解を深める。単元の目標や各授業のめあてを示し、授業内での活動から理解を評価する。また、ノートやプリント等の提出物の内容を評価する。さらに、理解の確認のため、定期考査や小テストをおこない、評価に加える。

科目名	言語文化		学年	普通科		必/選	単位数
			1年	国文	普通	必修	2
				○	○		
学習の目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会にかかわろうとする態度を養う。</p>						
使用教材	<p>教科書：「新編言語文化」（東京書籍）</p> <p>副教材：「書いて覚える漢字練習ノート」（啓隆社）</p>						
評価	評価法	定期考査、小テスト（定期）、パフォーマンス課題（発表、レポート、作文）、ノート、ふり返しシートで評価する。					
	評価観点の趣旨	a	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。			
		b	思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。			
		c	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養成している。			
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。							
期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1学期	4 5 月	5	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことを紹介しよう【書くこと】 文章の構造を整理しよう【読むこと】 	<ul style="list-style-type: none"> 引用歌や体験談に注意しながら、日本独特の桜に対する感性について理解を深める。（さくらさくらさくら） 現代の言語文化に息づいている古典の常識について興味を持ち、身の回りの具体例を調べる。 会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。（とんかつ） 	中間考査	中間考査	発表 作文 ノート
		5			小テスト	発表 作文	ふり返し シート
1学	6 7	5	<ul style="list-style-type: none"> 古文に親しむ【読むこと】 	<ul style="list-style-type: none"> 古文と現代のそれぞれの文章の、リズムや調子の違いを感じ取る。（古文に親しむ） 	期末考査	期末考査	発表 作文

期	月	11	・主人公の人物像を読み取ろう 【読むこと】	・歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取る。(児のそら寝) ・文語の活用について理解し、叙述を基に人物像を読み取る。(絵仏師良秀)	小テスト	発表 作文	ノート ふり返し シート
2 学 期	9 10 月	8	・歌に隠された思いを分析しよう【読むこと】	・歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。 ・古典を元にした絵画・工芸を通して、文章の内容を捉え直す。(伊勢物語) ・表現に即して小説を丁寧に読み味わい、そこに展開する独自の世界を味わう。(夢十夜)	中間 考査	中間 考査	発表 創作 ノート
		4	・小説の世界観を読み味わおう【読むこと】		小テスト	発表 創作	ふり返し シート
2 学 期	11 12 月	6	・登場人物の心情の変化を説明しよう 【読むこと】	・極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。(羅生門) ・古典を元にして作られた作品と、元の作品を読み比べ、理解を深める。	期末 考査	期末 考査	発表 レポート ノート
		4	・物語の紹介文を書こう 【書くこと】	・「羅生門」の魅力がより多くの人に伝わる紹介文を書く。	小テスト	発表 レポート	ふり返し シート
		3	・感じたことを共有しよう 【読むこと】	・古典の和歌を読み、和歌に表れた読み手の心情やそれを効果的に伝えるための表現技法について学ぶ。(折々のうた)			
3 学 期	1 2 3 月	7	・「故事成語」をさらに深く解釈しよう 【読むこと】	・漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。漢和辞典の使い方を知る。(訓読の基本) ・故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しむ。(故事成語3編)	学年 末考 査	学年 末考 査	発表 作文 ノート
		5	・情景描写と世界観の関係を読み取ろう 【読むこと】	・故事成語の成り立ちを知り、その由来を説明する。 ・主人公の心情の変化に注目しながら、細かい表現に注意して話の展開を捉える。(デューク)	小テスト	発表 作文	ふり返し シート

担当者からのメッセージ (学習方法など)

授業は、教科書を中心に進め、様々な学習活動を通じて、理解を深める。単元の目標や各授業のめあてを示し、授業内での活動から理解を評価する。また、ノートやプリント等の提出物の内容を評価する。さらに、理解の確認のため、定期考査や小テストをおこない、評価に加える。